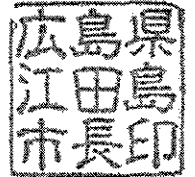


平成20年10月14日

国土交通省 道路局長 様

江田島市長 曾 根 薫



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

国土交通省道路局長様におかれましては、日頃より本市まちづくりの骨格となる道路整備の推進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付か国道企37号でご依頼のありました標題のことにつきまして、別紙のとおり提出させていただきます。

地方分権、地方の自立の流れの中、基礎的自治体の基盤強化は不可欠であり、その中でも道路は重要な役割を果たすものですが、地方都市においては、その整備状況は十分とは言えません。

こうした地方の実情をご理解いただくと同時に、個々の地域課題にも十分ご配慮いただきながら、今後とも真に必要な道路の整備を推進していただくようお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

広島県江田島市

(1)地域のニーズに的確に対応した道路整備の推進

地方分権の進む中、地方が自立し、また持続的・安定的な運営のためには、これからも必要な基盤整備を進めていく必要があり、その中でも「道路」は、市民生活や経済活動を支える重要な社会基盤であるが、未だ地方都市ではその整備は十分とは言えない状況である。

観光資源や地域拠点を連絡し、地域の経済活動や多様な交流を支える「幹線道路」、生活の安全を確保する「歩道」など、これからも地方のニーズに的確に対応しつつ「真に必要な道路」の整備を推進する必要がある。

(2)地域の実情に応じた事業評価手法の導入(交通量を根拠とする費用対効果分析からの転換)

真に必要な道路整備を選択するためには、高速道路や都市部以外の道路、あるいは今後の交通量が増加しない状況の下においては、交通量以外の事項を根拠とし、また地方の実情に応じた費用対効果分析の導入が必要である。

(3)既存施設の有効活用

高速道路、有料道路の料金が、物流産業、地場産業の経営を圧迫している。

このため、料金の値下げにより利用促進を図ると同時に、物流産業、地域産業(水産業等)の支援、価格競争力の向上を図る必要がある。

(4)アセットマネジメントの導入

道路ストックの増大により、将来の維持修繕費が増大する状況にあり、施設の適切な管理・維持により、将来の維持修繕費の軽減を図る必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

広島県江田島市

○現状	○課題
(1) 地理的不利条件の克服 本土と渡海橋で結ばれているが、実感は「呉市からの長い半島」で、距離的には「ほぼ愛媛県」。観光振興、広域交流に高いハードル	・広島空港、全国的な高速道路網への時間距離の短縮に資する道路網の整備
(2) 地形的不利条件の克服、更なる行政コストの縮減 中央に江田島湾を抱くY型の地形で市内の移動では大きな迂回を余儀なくされる。 地域の資源を有効活用するためには、移動ネットワークの強化が必要。また、きめ細かい住民サービスには機能の分散配置(支所等)が必要となるが、今後はレベルを確保しつつ、行政コスト縮減も必要となる。	・来訪者や居住者の移動コストや行政コスト、港湾管理コストの軽減を図るためには、島内循環道路や津久茂架橋などの幹線道路網の整備を進めるとともに、併せて、市役所や消防施設の集約化、港湾・航路の機能再編を進める必要がある。
(3) 安全・安心の確保 ○江田島市の活性化、定住促進を図るためには、生活の安全・安心の確保が不可欠。本市においては、小・中学校の統廃合による通学圏の拡大、高齢者の生活支援としての対応が急務である。 ○江田島市は、音戸大橋、早瀬大橋で本土と連絡しており、これらの渡海橋は、本市の危機管理上、最重要施設となっている。 音戸大橋は、第二橋が整備中であるが、早瀬大橋は完成後35年が経過し、県内の渡海橋では最古のグループとなっており、老朽化の進行や地震時の安全性が危惧されている。	・自転車歩行者道の整備 ・将来とも、本土と陸続きであることが、地域社会の安全・安心に繋がるもので、広島湾架橋という選択肢を含め、渡海橋の保全、安全確保のため早急な検討が必要である。
(4) 燃油高騰による影響への対応(地域医療の後退、地場産業の圧迫) ○燃油高騰により、本市の主要交通手段である海上交通の経営が圧迫され、サービスが低下。(減便、減速) ⇒地域医療が後退する中、都市部の高度医療機関へ通院を余儀なくされている高齢者への負担増 ○地域の主要産業である農水産業の安定化には、更なる経営改善や後継者育成が急務でありながら、新たに燃油高騰により経営が圧迫されている。 ○このように島嶼部の生活基盤である公共交通機関、産業の衰退は居住者の負担増へ繋がり、人口減少に拍車がかかる恐れがある。	・海上交通を含む公共交通機関の経営環境の改善のための公共交通を支える基盤の整備、経営支援の検討 ・地域医療を支えるインフラ整備…(数少ないと思うが) ・地域産業の支援のために物流コストの軽減に資するインフラ整備

江田島市総合計画(H19. 3)より

〈都市像〉

自然との共生・都市との交流による『海生交流都市』えたじま

〈3つの基本テーマ〉

○安全・安心と快適環境の『住みよさづくり』

○海と島と歴史文化が彩る『美しさづくり』

○人と地域が輝く『元気づくり』

〈具体的なイメージ〉

- (1) 60分以内で、広島市内の高度医療施設へ移動できる公共交通機関を確保し、自然豊かな地域で、セカンドライフを過ごす、広島都市圏の定住ゾーンとして、時間軸がゆっくりとした、農業・漁業の生涯現役として活躍できる地域社会を構築する。
- (2) 港湾ターミナル付近に地域のサービス拠点が集約され、陸上交通のターミナルとなっているコンパクトな町構造に地域を再整備する。
- (3) 大和ミュージアム、旧海軍兵学校、西能美の自然・景観などの「観光資源」の回遊性の強化。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

広島県江田島市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	東広島呉自動車道路 国道 487 号 (第二音戸大橋) 国道 487 号 小用BP 国道 487 号 (仮)津久茂架橋 島内周回道路(一般県道 高田沖美江田島線)	・広域交流促進 (空港, 高速ICとの時間距離の短縮) ・観光拠点や主要交通拠点(港湾)相互の 連絡強化 ・都市部との連携強化 ↓ 地域活性化, 定住促進	
・公共交通機関の 支援	国道 487 号 小用BP	港湾アクセスの強化	
・安心・安全の確 保	歩道整備(一般県道 江田島大柿線 他)	江田島小学校(5校統合)周辺の交通環境 の改善	
・行政コストの軽 減	国道 487 号 (仮)津久茂架橋 島内周回道路(一般県道 高田沖美江田島線)	・公共施設, 行政機能の集約化 ・航路再編等による港湾管理コストの縮減	